

# 基本的な考え方及び検討事項

---

# 基本的な考え方

---

- ICTは、言論の自由、民主主義を確立していくためのインフラ。

人間を中心に据え、すべての人間に等しく降り注がれる「太陽」のようにコミュニケーションの権利を保障することが必要。

そのような社会の実現に向け、今後のICT政策の在り方について検討していくことが、本タスクフォースの目的。

- 現在、我が国は、少子高齢化の急速な進展、地球温暖化、経済・社会のグローバル化等の諸課題に直面。

ICTの利活用やICT産業の活性化により、これらの経済的、社会的課題等の解決に、国内のみならず国際的にも貢献していくことが必要。

- このような考え方を踏まえ、「過去の競争政策のレビュー」、「電気通信市場の環境変化への対応」、「ICT産業全般の国際競争力強化」、「地球的課題等の解決への貢献」について検討。

＜参考＞ CI(Consumers International:世界消費者機構)による「消費者の8つの権利」

- ①基本的ニーズが満たされる権利、②安全の権利、③知らされる権利、④選ぶ権利、⑤聞いてもらう権利、⑥救済を受ける権利、⑦消費者教育を受ける権利、⑧健全な環境を享受する権利

# 「過去の競争政策のレビュー」検討事項

---

- 昭和60年の電気通信市場の自由化、電電公社の民営化以降、各種の規制緩和措置や制度改革等を実施。
- 我が国では、世界最先端のネットワーク環境が実現しているが、インターネットの普及により、サービスの提供及び利用において物理的場所が制約とならなくなり、国際的な競争が進展。
- これまでの四半世紀にわたる競争政策が、
  - 電気通信市場の公正競争促進
  - 消費者の利便向上 等にもたらした効果を検証・総括。

# 「電気通信市場の環境変化への対応」検討事項

---

- メタルから光への移行が進展するとともに、コンテンツ配信市場などの上位レイヤー市場の競争上の重要性が高まるなど、電気通信市場を取り巻く環境は大きく変化。
- 上位レイヤーも含めた国際市場において我が国の電気通信事業者が活躍できるようにするため、これまでの電気通信市場の議論を超えたICT産業全体の将来像を描いた上で、以下の点について、世界に通用するルールの在り方を検討。
  - インターネットのオープン性の確保の在り方
  - サイバー攻撃への対処を含めた安心・安全なインターネットの実現
  - ユニバーサルサービスの在り方
  - 国民のコミュニケーションにおける権利保障の在り方 等

# 「ICT産業全般の国際競争力強化」検討事項

---

- 経済・雇用危機の克服と持続的な経済成長を実現していくため、急速に進展する少子高齢化による国内市場の縮小を補い、新たな雇用と需要を創出することが課題。
  
- このため、以下の点について、ICT産業全般の国際競争力強化に向けて検討。
  - コンテンツ事業者、メーカー等を含む幅広いICT関連企業によるオールジャパン体制でのグローバル展開を促進する方策
  - 地上デジタル放送日伯方式の更なる国際的な普及等に向けた方策
  - 研究開発をはじめとするイノベーションの促進策
  - デファクトスタンダードを含む標準化戦略の在り方
  - 著作権等の知的財産保護の在り方を含むコンテンツ産業の振興策
  
- 検討に当たっては、東アジア共同体構想の推進等を念頭に置きつつ、国際貢献の推進についても留意。

# 「地球的課題等の解決への貢献」検討事項

---

- 人間中心のICT政策実現のため、世界最先端のブロードバンド基盤を活かしつつ、行政、教育、医療など国民生活のあらゆる分野においてICTの利活用の促進等を図ることが必要。
- 特に、環境問題や医療問題等の世界各国が直面している地域的・地球的課題の克服に向けて、我が国の優れたICTを活用し、我が国が世界の「架け橋」として国際社会から信頼される国となる必要がある。
- このため、以下の点について検討。
  - ICTによる地域の「絆」を作る観点から、ICTの利活用を促進するための方策
  - 全ての人々に等しくコミュニケーションの権利を保障する観点から、情報リテラシーの向上、チャレンジド(障がい者)によるICT利活用の促進等を図るための方策
  - 創造、協働の理念に基づき、コンテンツの豊かな流通を含むICTの利活用により、我が国が地球的課題等の解決に貢献し、世界中の人々が等しく恩恵を享受できるような方策